

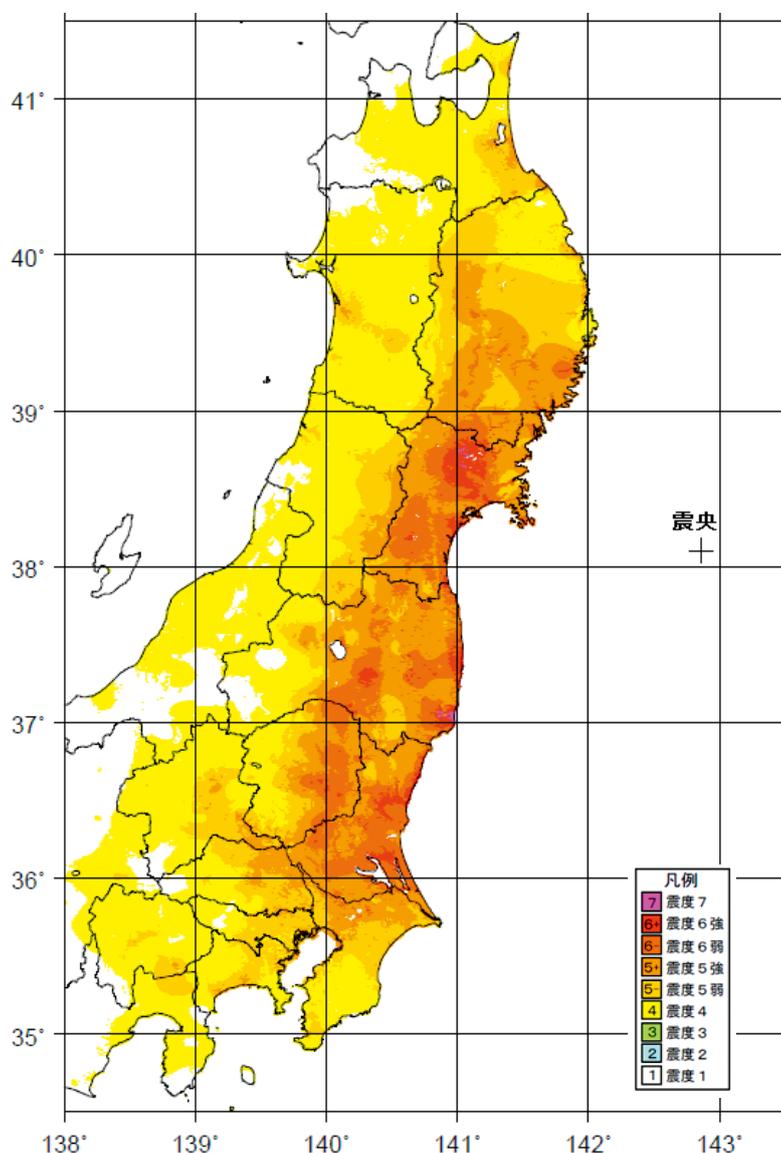
# 2011.3.11 M9.0 東日本大震災発生

宮城県土木部では地方自治法に基づく応援を全国の地方自治体などからいただきながら、未曾有の大災害と向き合ってきました。地震発生直後の体制・初動対応から応急復旧、そして1年ごとに積み上げて来た復興のあゆみを振り返ります。



書類等が散乱した東部土木事務所

## 地震の概要



発生時刻：平成23年3月11日(金)14時46分  
震源：三陸沖牡鹿半島の東南東約130km付近  
深さ約24km

規模：Mw9.0  
断層の大きさ：長さ450km, 幅200km  
地震の種類：海溝型地震, 逆断層型  
最大震度：震度7(栗原市)

### 宮城県の沿岸15市町全てに大津波が襲来

津波の高さ：石巻鮎川 8.6m以上  
浸水面積：327km<sup>2</sup>  
地盤沈下[海拔0m以下の面積]：56km<sup>2</sup>

### 宮城県で甚大な被害の発生

■人的被害 (令和3年10月31日現在)  
死者 [関連死含む]：10,568人  
行方不明者：1,215人

■住宅被害 (令和3年10月31日現在)  
全壊 [床上浸水含む]：83,005棟  
半壊 [床上浸水含む]：155,130棟  
一部損壊：224,202棟

■被害額 (令和3年9月30日現在)  
9,096,893,428千円  
※東日本旅客鉄道の被害額は含まれず

### 最大時32万人が避難

最大避難者数 [3/14] 320,885人  
避難所数 [3/15] 1,323箇所  
避難所閉鎖日 平成23年12月30日  
最大二次避難者数 約3,000人

(H23.4~10 調整に県が関与した数)

## 地震直後の対応

### ①土木部災害対策本部の設置

地震発生後、県は直ちに災害対策法に基づき知事を本部長とする宮城県災害対策本部を設置しました。土木部では、宮城県災害対策本部が設置されたことから「宮城県土木部災害対策本部及び事務局の組織並びに運営に関する要領」第2に基づき、県庁8階土木部会議室に宮城県土木部災害対策本部を設置し、土木部としての対応方針の決定、被害状況の把握、その後の公共土木施設等の復旧に全力を挙げて取組ました。

### ②土木部職員の安否確認

最大震度7を記録し、大津波による人的被害が甚大なことが予想されたため、土木部職員（臨時職員含む）976名の安否確認を直ちに実施しました。沿岸部の事務所は大津波で事務所そのものが被災し、NTT回線、携帯電話が使用出来ない状況となり、個人の固定電話や携帯電話も通話不能に。安否確認は非常に困難を極めました。土木部職員が全員無事と確認出来たのは地震発生後6日目となる平成23年3月17日でした。

### ③初動時における災害復旧体制

沿岸部にある東部土木事務所、気仙沼土木事務所、仙台塩釜港湾事務所、石巻港湾事務所、仙台港背後地土地区画整理事務所は、大津波で事務所そのものが被災したため、災害調査や応急復旧は、内陸部にある事務所で支援することにより、初動体制を確保しました。また津波で甚大な被害を受けた沿岸市町については、避難所運営などにより人的不足が顕著であったことから、県において災害査定等を支援しました。

### ④他県職員の応援派遣

土木部では発災当初から国、各都道府県及び関連機関から応援派遣（仮設住宅支援、下水道災害調査、災害復旧・復興先遣調査、下水道災害調査）を受けて復旧に取組ました。平成23年4月からの4道県からの短期派遣に続き、同年6月からは17都道県から83名、同年9月及び10月にはピークとなる100名、同年11月から18都道県から98名の長期派遣（自治法派遣）の人的支援をいただきました（地方自治法第252条の17の規定）。



土木部災害対策本部会議の様子



平成23年3月11日15時57分頃（地震発生後1時間11分後）に阿武隈川下流域下水道の県南浄化センター（岩沼市下野郷地内）へ津波が襲来し、当時勤務していた49名の作業員が屋上に避難している写真。この49名の作業員は翌12日の夜に無事救出されました。



国道398号の新北上大橋（橋長565.29m・幅員8.0m）の上部工2径間が津波により落橋。早期に一般車両や工事車両の通行を確保しなければならないことから仮橋を施工しました。

対応区間	担当・支援担当事務所	現地駐在箇所	当面のルートの確認・被災調査等
気仙沼市 ●旧唐桑町 ●気仙沼市の中心部	気仙沼土木事務所 建設センター（沿岸市町村支援）	（仮）気仙沼土木 （気仙沼保健福祉事務所）	●国道284号からの進入ルート確認 （国道45号の確認） ※国道284号一関IC～気仙沼は 県警が緊急交通指定路線 ●馬場只越・気仙沼唐桑、 気仙沼本吉線の確認
気仙沼市 ●気仙沼市の南部 ●日本吉町のうち国道45号 小泉大橋の北側	北部土木事務所 栗原地域事務所 栗原地方ダム総合事務所 建設センター（沿岸市町村支援）	気仙沼市本吉支所	●国道346号からの進入ルート確認 ●気仙沼本吉線の確認 ●馬籠志津川線の確認 ●本吉へ入る代替林道等の確認
気仙沼市 ●日本吉町の 小泉大橋の南側南三陸町 石巻市 ●旧北上町 ●旧河北町の北上川左岸側	東部土木登米地域事務所 大崎地方ダム総合事務所 建設センター（沿岸市町村支援）	バイサイドアリーナ	●国道346号から志津川進入ルート 確認（代替農道） ●馬籠志津川線～払川町向線の確認 ●柳津大橋から国道45号経由国道 398号に入るルートの確認（戸倉） ●北上津山線から国道398号に入る ルートの確認（旧北上町）
石巻市 ●石巻市の北上川右岸分 東松島市 ●旧鳴瀬町の鳴瀬川左岸	東部土木事務所 仙台地方ダム総合事務所 建設センター（沿岸市町村支援）	東部下水道事務所	●国道45号～河北桃生～国道398号 （旧雄勝） ●東松島市から石巻市街地
東松島市 ●旧鳴瀬町の鳴瀬川右岸 仙台土木部管内市町村 ●大河原土木対応区間を除く ※ただし直轄海岸分は直轄で担当	仙台土木事務所 仙台地方ダム総合事務所 建設センター（沿岸市町村支援）	仙台土木事務所	●松島町～仙台港、仙台空港から 阿武隈川までのエリア
亘理町 山元町 ※ただし直轄海岸分は直轄で担当	大河原土木事務所 建設センター（沿岸市町村支援）	亘理町役場	●阿武隈川以南のエリア

※被災状況データ出典：宮城県「東日本大震災～3.11を語り継ぐ～パネル」資料、宮城県ホームページ公開資料より

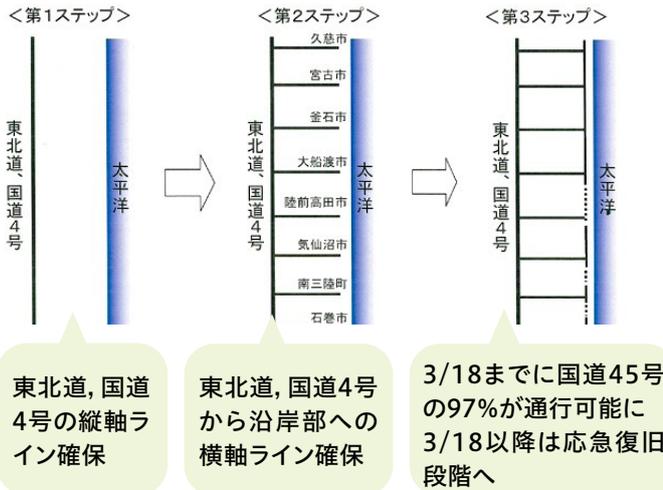
# 発災初期の対応

## 道路の啓開

### [1]救命救急活動・緊急物資輸送路の整備・確保

#### ①くしの歯作戦

沿岸地区の緊急輸送道路を確保するため「くしの歯形」に救援ルートを確認(3/11→3/18)



#### ②道路の啓開・復旧



道路両側に山積みとなったがれき(国道398号)



がれきの山を取り除く作業(国道398号 女川町)



浮き桟橋が乗り上げ国道を寸断(石巻市 国道398号 内海橋)

県管理道路45路線(165.4km)の災害廃棄物は7月で撤去完了

▶被災地支援を行うためのルートをいかに早く復旧・確保するかが復旧活動の鍵!

### [2]燃料不足解消のための取組

製油所や油槽所、タンクローリー車などが被災  
東日本全体の燃料供給能力が激減  
関東以北の主要な製油所・油槽所18ヶ所のうち、  
仙台製油所、千葉製油所、塩釜油槽所等の7ヶ所が被災

- 緊急物資及び生活物資輸送のためのトラックのガソリン不足
- 復旧工事に係る重機の燃料不足
- 病院・福祉施設等の燃料不足
- 一般車両へのガソリン不足
- 避難所の暖房用燃料不足

**被災地の復旧活動が停滞!**



製油所の火災(仙台製油所)

## 港湾の啓開

### 燃料ルートの確保



仙台塩釜港において航路の啓開作業完了  
3/21 震災後初のタンカー入港 3/27 大型タンカー入港  
3/29 深刻な燃料不足が解消

### 臨港道路啓開状況



### コンテナヤード



## 空港の啓開

がれきで埋まった仙台空港が震災後約1ヶ月で再開(4/13)

▶米軍が自衛隊とともに実施した「トモダチ作戦」の成果

米軍輸送機C-130が着陸できるように3/15までに滑走路1500m分のがれきを撤去

大量の被災車両の運搬は米軍が、行方不明者の捜索活動は自衛隊が、大量のがれきの撤去は、建設業者が実施

## 各地方公所の初動期における対応状況等の写真

大河原土木事務所



被災状況等の確認

仙台土木事務所



災害査定状況

北部土木事務所



化粧坂橋 応急対応状況

北部土木事務所栗原地域事務所



若柳築館線の通行規制

東部土木事務所



車両通行不能区間 現地確認状況

東部土木事務所登米地域事務所



迫川堤防 応急対応状況

気仙沼土木事務所



仮庁舎(マルタクビル)での執務状況

仙台塩釜港湾事務所



コンテナターミナル再開

石巻港湾事務所



サルベージ作業状況

中南部下水道事務所



災害査定状況

東部下水道事務所



東部浄化センター 放流管応急復旧

仙台地方ダム総合事務所



寺野警報局 応急対応状況

大崎地方ダム総合事務所



上大沢ダム応急対応

栗原地方ダム総合事務所



荒砥沢ダム防護柵復旧

仙台港背後地土地区画整理事務所



被災車両仮置状況

2011.3.11 東日本大震災(M9.0)発生。

宮城県の沿岸15市町全てに大津波が襲来し、あらゆるインフラが機能停止になりました。

昼夜を問わず道路啓開等、応急復旧を進めました。

そして震災から10年、県内外から様々な支援をいただきながら復旧・復興は着実に進みました。

## 各施設の被害状況 / 応急復旧状況



■道路



(主) 気仙沼唐桑線



■橋梁



(国) 398号 内海橋



■河川



中貞山運河



■海岸



白浜海岸



■港湾



仙台港 高砂コンテナターミナル



■空港



仙台空港



■下水道



石巻東部浄化センター

## 2015



●2015.2  
折立海岸



●2015.3  
女川復興まちびらき



●2015.7  
玉浦西地区まちびらき

## 2016



●2016.4  
仙台湾南部海岸



●2016.4  
(国) 346号 本吉バイパス



●2016.10  
北上運河



●2016.10  
(国) 398号 新北上大橋



●2017.7  
菖蒲田浜地区海岸

## 2017



●2017.6  
(一) 馬場只越線 只越バイパス



●2017.10  
気仙沼合同庁舎

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

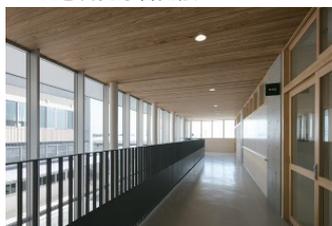
再生期

発展期

# 2018



●2018.2  
石巻合同庁舎開設



●2018.7  
気仙沼向洋高校



●2018.7  
定川



●2018.11  
(国) 398号 石巻バイパスⅡ期

# 2020



●2020.3  
(主) 女川牡鹿線  
小乗浜



●2020.5 高砂コンテナターミナル  
新トラックゲート



●2020.6  
水門陸開閉鎖システム 運用開始



●2020.9  
仙台塩釜港(仙台港区)蒲生地区海岸



●2020.9  
(国) 398号 内海橋

# 2019



●2019.4  
気仙沼大島大橋



●2019.4  
矢本海浜緑地



●2019.3  
気仙沼港海岸 朝日地区



●2019.6  
閑上地区まちびらき



●2019.7  
(主) 石巻鮎川線 小網倉浜



●2019.12  
(主) 岩沼蔵王線  
大師・姥ヶ懐道路

# 2021



●2021.1  
(一) 釜谷大須雄勝線  
伊勢畑



●2021.3  
(主) 相馬巨理線



●2021.3  
七北田川



●2021.3  
中島地区海岸



●2021.3  
石巻南浜津波復興祈念公園